

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2020年3月29日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	トルコ共和国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: 中東工科大学 現地言語: Orta Doğu Teknik Üniversitesi
留学期間	2019年9月～2020年 月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	哲学科 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2020年3月26日
明治大学卒業予定年	2022年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月下旬～1月上旬 2学期:2月上旬～5月上旬 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	26500
創立年	1956年

留学費用項目	現地通貨 (Türk Lirası)	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	1740	29707円	290×12ヶ月
食費	9000	153791円	
図書費	0	0円	
学用品費	0	0円	
携帯・インターネット費	290	4951円	初期 sim50×通信料 6ヶ月
現地交通費	300	5126円	( <input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	0	0円	
被服費	500	8543円	
医療費	0	0円	
保険費		円	形態:
渡航旅費	7610	130050円	
ビザ申請費	0	0円	ビザ不要
雑費	16000	273406円	交際費、旅費
その他		円	
その他		円	
<b>合計</b>	<b>35440</b>	<b>605576d円</b>	

<b>渡航関連</b>	
<b>渡航経路</b>	
往路 出発地:成田国際空港 目的地:エセンボア国際空港 経由地:ドーハ国際空港 復路 出発地:エセンボア国際空港 目的地:成田国際空港 経由地:イスタンブール空港, シェレメーチエヴォ国際空港	
<b>渡航費用</b>	
①往復チケットを購入した場合 航空会社: _____ 料金: _____	
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:カタール航空 料金:88300円 復路 航空会社:アエロフロート 料金:41750円 ∴合計:128880円	
<b>航空券購入方法</b>	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: _____ ) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:Skyticket, Skyscanner) <input type="checkbox"/> その他( _____ )	
<b>滞在形態関連</b>	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:Refika Aksoy Yurdu) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 4)	
3)共有部分	
<input type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン( <input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
留学先大学からのメールで4つ選択肢があり、そこから選んだ。	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
滞在先は一か月 290TL という安い寮でした。綺麗というわけではないのですが、値段以上に暮らしやすい寮であったと思います。	
<b>現地情報</b>	
1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所: _____ )	
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)	
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等:ICO)	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
友達との噂や大使館の人と話したとき、また大使館から送られるメールで情報収集はしていました。特に防犯対策をしていなかったのですが、幸いにも犯罪に巻き込まれることはありませんでした。	
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。	
モバイル通信に関しては日本よりも格段に安く利用することが出来ます。	
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
JASSO からもらっていた奨学金で資金調達を行いました。現金の引き出しはクレジットカードのキャッシング機能を用いていました。	
6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。	
必要なものは全てトルコで調達することが出来ると思います。	
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法, 支払時期等について教えてください。	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)	
1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
3単位	<input checked="" type="checkbox"/> 3単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) ・履修の制限はありましたか？	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
History of Science	科学の歴史
科目設置学部・研究科	Philosophy department
履修期間	2019 Fall Semester
単位数	4
本学での単位認定状況	4単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が1回
担当教授	Prof.Dr. SAMET BAĞÇE
授業内容	科学、主に天文学の歴史とその思考の経緯について、古代ギリシアなどの最古のものからコペルニクス、ケプラー、ガリレオ、ニュートンを経て達成された科学革命の歴史をたどりながら考察する授業。主に Arthur Koester "The Sleepwalkers: A History of Man's Changing Vision of the Universe"に基づいて授業が行われる。
試験・課題など	二回の中間考査、一回の期末考査がある。
感想を自由記入	<p>私たちが信用している科学について、それがどうやって建てられたのか、そこにいなるまで、科学者や哲学者はどのような思考をしてきたのか。どのような問題が生じていたのか。近代科学が打ち立てられるまでの哲学者たちの考え方もとても納得できることが多く、面白い授業でした。</p> <p>また、この授業の教授の Samet 教授は、唯一の留学生であった僕をととても良く気遣ってくれました。初めてきた時も、緊急で帰国する際も気を使って連絡してくれました。何かあったら助けてくれると思います。</p>

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート
---------------

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2018年 1月～3月	とくになし
4月～7月	とくになし
8月～9月	TOEFL 受験
10月～12月	留学説明会、留学申込、TOEFL 二回目受験
2019年 1月～3月	留学面接(?), 留学決定、留学オリエンテーション
4月～7月	留学オリエンテーション、協定校からの連絡(寮の選考、仮シラバスの配布、ポータルサイトへの登録など)、航空券購入
8月～9月	予防接種、渡航、協定校のオリエンテーション、履修登録
10月～12月	履修修正、中間テスト(二回行う授業もあり)、寮のシーツと枕カバーの取り換え
2020年 1月～3月	期末テスト、冬休み(2～3週間)、履修登録、履修修正
4月～7月	中間テスト、コロナウイルスの影響により帰国
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私はもともと宗教哲学に興味がありました。その中でも、イスラーム教は自分にとってとても遠い存在であったので、「人と違う事をしたい」という欲求から、イスラーム教を学び肌で体感するために中東に行くことを決めました。と、いうのは建前に過ぎません。自分がトルコに留学することを決めた後に、自分自身や周りを納得させる為につけた理由にすぎません。入学した当初からトルコ留学については考えてはいたのですが、今になって思えば決め手は「朝起きたときに、トルコに行きたかった」。これにつきます。なので、行きたいと思ったその日に書類の準備を一挙にはじめ、気づいたら選考に通り、次に気づいたときにはもう成田空港を飛び立っていました。そんな具合です。

つまるところ、私にとって建前としての理由付けはあったけれど、この留学は始めから無目的に近いものでした。その為、ついてから帰国に至るまでやる気というやる気は出ないし、授業も面白いと思った授業しか受けないし、面白くて受けていた授業も単位を落とすといった具合でした。

では、私の留学というのは失敗だったのでしょうか。「留学をキャリアに結びつける。」「留学で身に付けたことを、日本に帰ってからの学習でも活かす。」などのことを考えれば失敗だったのでしょうか。そのように目的を設定するのであれば、それにふさわしい行動設計があると思うので。しかし、私はこの留学を全く失敗だとは思っていません。私には時間の余裕があり、心の余裕がありました。だからこそ、留学で経験した一つ一つの出来事を、自分の言葉で反省し、文字に残し、自分の生きる糧にすることが出来ました。もちろん、私の言う『生きる糧』とは何も就職活動に役立つとか、そのような功利的な視点に立っているわけではありません。そうではなく、私の心が一回り大きくなった、そんなような感覚です。こんなことを他人に言っても仕方がない事はわかっているし、認められないこともわかっています。けれども、私自身で認めることが出来ます。胸を張って留学報告書に書くことが出来ます。それだけで私の留学は成功したと思っています。

私はここで留学で具体的にどのような経験をしたかとは書きません。なぜなら、私のした経験と未来のあなたが経験することは全く別物であるからです。出来事も違えばそれをとらえる人間も違う。なので、ここでは上に記載した私の留学の感想を記載するのに届けておきます。

一つアドバイスをするのなら、私のような留学もあるという事です。何もテンプレ的な、「留学して人生変わった！就活に役立った！」というような考えに自分を押し込めなくていいのです。なぜ経験の価値を自分以外の見知らぬ他人に判断されなきゃいけないんでしょう。元来違う人が違う国で違う経験をするのであるから、留学なんて十人十色でいいはず。この記事を読んでいるあなたは、アメリカ留学というマジョリティから外れ、中東工科大学というマイノリティに足を踏み入れようか考えている人だと思います。トルコなんて英語圏でもないし、様々な点でマジョリティと自分を比べることがあるかもしれませんが、そんなものはどうか気にしないでください。大衆に流されず、自分の興味を軸にマイノリティを選択しようとしているあなたのことが私は大好きです。